



静内高校に太陽光発電パネル設置 9/1

道では、二酸化炭素の削減や環境教育での活用などを目的に、道立学校への太陽光パネルの設置を進めており、日高管内では唯一静内高等学校に設置されました。

この太陽光発電システムは10月から稼動し、校舎内の蛍光灯等の電力をまかなうほか、生徒たちに新エネルギーを身近に感じてもらうため、生徒玄関に太陽光発電の様子を知らせるモニターを設置し、太陽光の強さや発電量などを表示する予定です。



谷本知美さん老人ホーム慰問 8/29

新ひだか町サポート大使を務める、演歌歌手の谷本知美さんが、1年ぶりに来町し、町特別養護老人ホーム静寿園と蓬萊荘を訪問。新曲の『しぐれ橋』や美空ひばりさんの『お祭りマンボ』などを披露しました。

今回の訪問に谷本さんは「私はおじいちゃん、おばあちゃんっ子だったから、皆さんの前で歌えてとてもうれしい。また来ます」と話し、再開を約束していました。



チャリティーソフトボール・プロレス 8/21・22

『24時間テレビ愛は地球を救う』に協賛して、ケリマップダイヤモンドファミリー（馬場欣治会長）による、チャリティーソフトボールとプロレスが梟舞小学校グラウンドなどで行われ、集められた募金を24時間テレビに寄付しました。

ソフトボールでは、三石地区の小学生が参加し、珍プレーや好プレーが続出。プロレスでは、北海道を拠点に活動する『アジアプロレス』を招いて行われ、迫力ある技の数々に歓声が上がっていました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



町民水泳大会 9/11

『第5回町民水泳大会』が町温水プールで行われ、小学1年生から一般の方まで32名のスイマーが出場し、水しぶきを上げながら熱戦が繰り広げられました。

大会では、男女に分かれて自由形や平泳ぎ、バラフライなど、25メートルと50メートルの距離をさまざまな種目でタイムを競い合い、今回は男子中高生の25メートル自由形など、8種目で大会新記録が生まれました。



町イオル再生検討委員会計画案提案 9/1

アイヌの伝統的生活空間（イオル）再生事業の具現化に向け、町イオル再生検討委員会（山田一孝委員長）で検討されてきた『しずない地域計画（案）』が策定され、町に提案されました。

この計画（案）では『研究・復興型イオル』を整備のコンセプトとし、歴史的に貴重な史跡などの調査、研究やアイヌの人たちの生活向上のため、自然素材を活用した『イオルビジネス』の検討などが示され、町では、平成24年度からの具現化を目指します。



全道中学生選抜バレーフェスティバル優勝 8/28・29

第13回全道中学生選抜バレーボールフェスティバルが、厚沢部町で行われ、静内中学校と静内第三中学校の3年生で編成されたチーム『WINNERS』が日高管内では初となる優勝に輝きました。

大会は、道内と青森県の45チームで争われ、WINNERSは決勝を含めた全試合で1セットも落とさず、ストレート勝ちを納める快挙。

今回の結果に主将の本庄さんは「今回の経験を今後のバレーに生かしたい」と話しました。



中体連全国大会出場激励会 8/19

島根県で行われる剣道の全国大会に三浦睦さん（三石中3年）が、岡山県で行われるソフトテニスの全国大会に静内第三中学校男子ソフトテニス部（沢崎涼太主将）がそれぞれ出場を決め、役場静内庁舎で激励会が行われました。

選手たちは「悔いが残らないよう、一生懸命戦ってきます」と決意を述べ、酒井町長は「2つとも新ひだか町を象徴する強いスポーツ。全国大会で思う存分戦ってほしい」と激励しました。



功労馬慰霊祭 9/17

静内軽種馬生産振興会による『功労馬慰霊祭』が二十間道路の桜舞馬公園で行われ、参加した軽種馬関係者らは、在りし日の名馬たちをしのんでいました。



コスモスロード 満開 9/7

7月に町コミュニティ運動協議会や町民ボランティア、静内農高生によって、二十間道路沿いに植えられたコスモスが見ごろを迎え、道行く人の目を楽しませています。



ひだか特産市 8/21・22

みつし昆布温泉『蔵三』で第4回ひだか特産市が行われ、来場者はみつし牛や静内地区産のミニトマト加工品、焼きつぶなど、日高管内の味を楽しんでいました。



海水浴場、今シーズン終了 8/17

7月17日に今シーズンのオープンをした三石海浜公園海水浴場が最終日を迎え、最高の天気にも恵まれたこの日、家族連れや若者たちが海水浴を楽しんでいました。